

とくしま医療センター東病院では、 『ジェネリック医薬品（後発医薬品）』 の使用を積極的に推進しています。

地域支援・医薬品供給対応体制加算の届出医療機関です。

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、新薬（先発医薬品）の特許が切れた後に製造販売される、新薬と同一の有効成分を同一量含み、同一の効能・効果をもつ医薬品のことです。



◇新薬（先発医薬品）より安価で、経済的

- ・患者さんの自己負担が軽減されます。
- ・価格は品目ごとに様々ですが、新薬の半額以下の薬もあります。

◇欧米では、普及しているジェネリック医薬品

- ・欧米では、日本に比べ、新薬からジェネリック医薬品への変更が進み、ジェネリック医薬品が広く普及しています。

◇ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリア

・ジェネリック医薬品は、新薬と同一の有効成分が、同一量含有され、同等の効き目があります。新薬と異なる添加剤が使用されることがありますが、有効性・安全性及び品質について国が厳格な審査のうえ、製造販売の承認をしているお薬です。

※ジェネリック医薬品（後発医薬品）を希望される場合は、医師等のスタッフにご相談ください。

<昨今の医薬品の流通供給不足への対応（R5.3.31）>

医薬品の供給不足等が発生した場合には、治療計画等の見直しを行う等、医師と薬剤師が連携し適切に対応いたします。また、投与する薬剤が変更する可能性がある場合や変更する場合には十分な説明と同意により対応いたします。不明な点等には、医師・薬剤師が対応いたしますので、気軽にご相談ください。